



武田さち子さんと考える

スクラシス 学校危機 心と命を救おう

上級生としての役割と責任 ってなんだろっ？

高橋信人君が行方不明になりました。いずれも4月に入学したばかりの1年生で、15歳でした。

当日は学校の休日、午後2時ごろ、3年生の男子生徒3人が、海洋科の1年生12人と2年生4人を誘い、計19人で大島南部の差木地帯に向かいました。堤防は斜めに取

り付けられたワイヤを伝って上ることができ、構造になっており、上れなかった1年生3人を除く9人に、3年生が海に飛び込むよう命令。飛び込む直前、サメが泳いでいるのを目撃した1年生が、「サメがいますけ

不明者を発見することはできませんでした。2000年12月22日、遺族らが訴えた民事裁判で東京地裁は、「3年生が主体となって伝統行事であるハンジージャンプを実行し、1年生及び2年生に強制的に飛び込みをさせた事実であるから、被告3年生らが1年生らの生命の安全を図るべき注意義務を負うべきである」として、安全注意義務違反、過失と死亡の因果関係を認定。また、

この行為が半ば日常化しており、倉監の教師もこれを知っており、「差木

り、自殺をしようことさえあります。71年、米国のスタンフォード大学心理学部で、心理学者のフィリップ・ジンバルド教授は「監獄実験」と称される実験を行いました。新聞広告で集めた人々を「看守役」と「囚人役」に分け、模擬刑務所を演じさせます。すると看守役はどんどん残虐になり、その行為を楽しむようになり、囚人役は無気力になっていきました。2週間の予定だった実験は、1週間程度で中止せざるを得ないほど残虐行為はエスカレートしていきまし

いじめる側といじめられる側の役割が固定されると相互作用のなかで、

「3年生は神様、2年生はただの人、1年生は奴隷」という言葉を聞いたことがありませんか。いくつかの体育会系部活の寮や学校の寮で使われる言葉で、学年間の生徒の上下関係を表します。上級生が下級生に自分の身の回りの世話や雑用をやらせたり、自分たちの力を誇示するため

4人が溺死・不明 都立高の寮での事件

上級生が自覚し、暴力の連鎖を断つ

にわざと無理難題を押し付けたり、思い通りにならないと暴力を振るったりすることもあります。学校としても、少ない人員配置で大勢の生徒を管理する都合上、このような生徒間の上下関係を利用することもあります。しかしエスカレートすると、命にかかわる事故や事件に発展することもあります。

「ど三波が荒いですよ」と言って再三中止を促しましたが、「これくらい大丈夫」と取り合ってもらえませんでした。「寮生の気合を見せろ」と言われ、寮生たちは命令に従わなかった場合の制裁が怖くて断れず、指示に従ったぞうです。安全を確認する意味で2年生2人を先頭に、1年生9人と3年生1人の計12人が海に飛び込みました。2列縦隊で泳いでいた高波が、高波で隊列が崩れ、3人の1年生が溺れ、同じく1年生の男子生徒が行方不明になりました。警察などが何日も捜索しましたが、行方

地ハンジー」がどのような内容の遊びが容易に知ることができ、事故を予想できたにもかかわらず放置したとして、学校側の管理責任も認めました。学校設置者である東京都と上級生ら3人に、総額2億7500万円の支払いを命じています。

加害者は自分を正当化し、被害者は自分を卑下したり、無力化したりするようになり、また、上級生から散々いじめられた下級生たちは、ストレス発散のために同級生をいじめたり、自分たちが上級生になったとき同じように、当然の権利として下級生をいじめるようになったりします。

見過ごしてならぬ下級生いじめ

1995年5月13日、東京都・伊豆大島にある都立高校の寮で生活していた生徒12人が、**11級生3人(高3)に命じられ、波浪注意報の出ている荒海に飛び込み、松山聖君、北原裕貴君、佐藤賢太郎君の3人が溺れて死亡。**

寮でなくとも、部活その他の学校生活で上下関係がはっきりしている学校があります。上級生の暴力やしごき原因だけが主で、上級生の言動に耐えきれなくなった下級生が不登校になったり、部活や学校をやめた

先輩・後輩の関係だけでなく、同級生の間に上下関係ができてい

このような暴力の連鎖を断ち切るには、生徒一人一人、なかでも上級生たちが自分たちの置かれた立場に依存しないよう、**に気をつけなければなりません。**(NPO「ジェントルハートプロジェクト」理事)

先輩・後輩の関係だけでなく、同級生の間に上下関係ができてい
もあります。自分たちは「ちょっとふざけただけ」のつもりでも、相手
はとてもしやな思いをしていることも……。今一度、自分の身の回りを
振り返ってみてください。いじめは人間として最低の卑怯な行為。
いじめのないクラス、学年、学校をみんなで作りましょう。

保護者の皆様へ ～お詫びと訂正～
4/23 発行の学年便り第9号にて、4/30(月)の進路・評価説明会
の開始時間を 15:00～とご案内しましたが、正しくは14:45～です。
お間違えのないようによりしくお願いいたします。申し訳ございません。

毎日新聞
「15歳のニュース」
より抜粋